

専門学科に関する現状

学科別生徒数・学科数・学校数(平成24年5月)

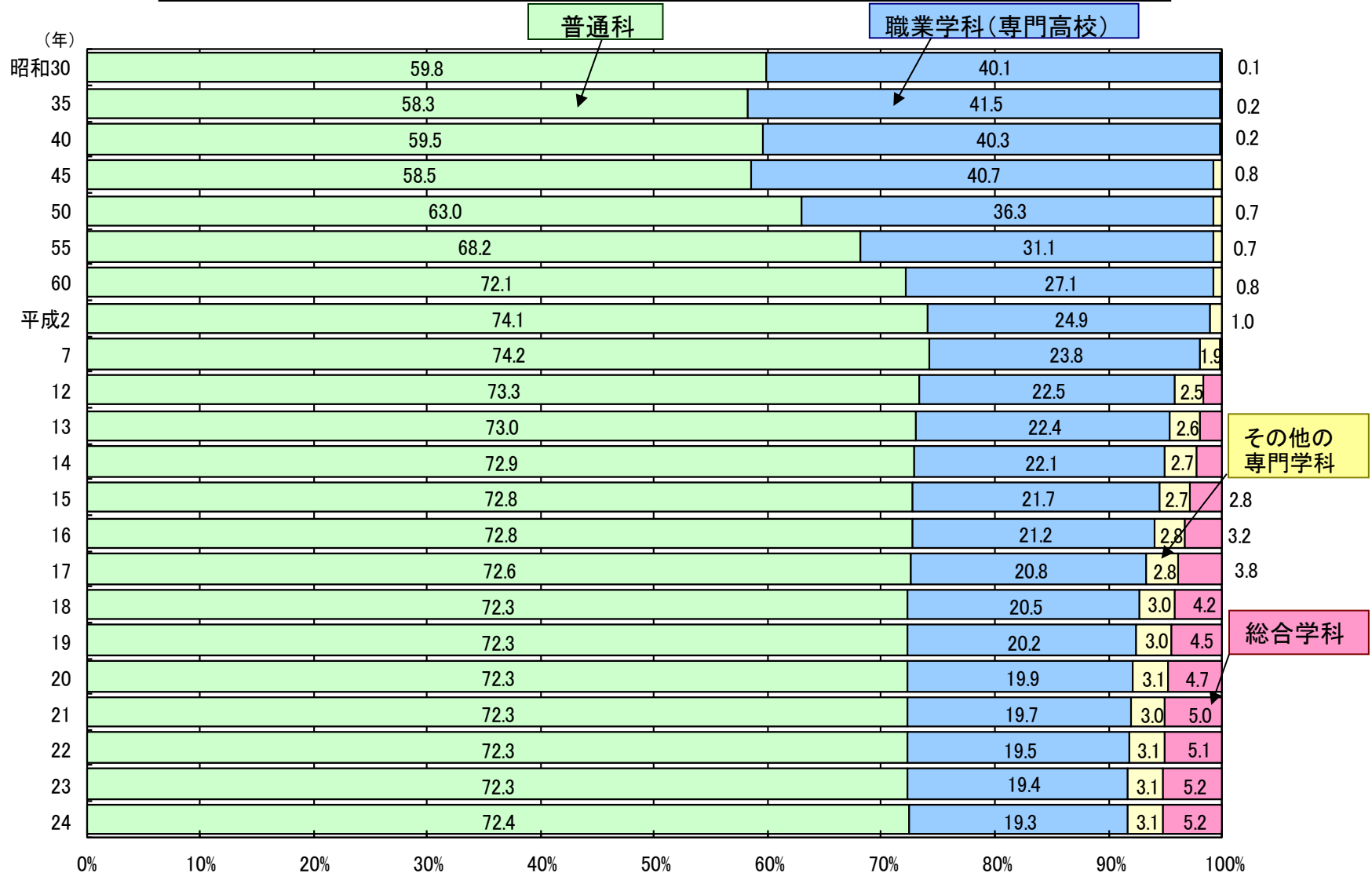
区 分	生徒数(人)	比率(%)	学科数	学校数		
				単独学科	複数学科	
合 計	3,347,127		6,872	3,584	1,438	
普 通 科	2,423,902	72.4	3,857	2,653	0	
職 業 学 科 (専 門 高 校)	小 計	643,684	19.2	2,091	636	1,407
	農 業	85,624	2.6	311	132	
	工 業	263,557	7.9	550	278	職業学科のみ2以上 191
	商 業	214,279	6.4	677	189	職業学科＋普通科 1,156
	水 産	9,612	0.3	42	22	職業学科＋総合学科 43
	家 庭	43,133	1.3	285	7	職業学科＋普通科＋ 総合学科 17
	看 護	14,559	0.4	95	6	
	情 報	3,193	0.1	29	0	
	福 祉	9,727	0.3	102	2	
その他専門学科	104,979	3.1	580	42	0	
総 合 学 科	174,562	5.2	344	253	普通科＋総合学科 31	

※ 全日制・定時制のみの統計である(通信制は含まれない)。

出典：文部科学省「学校基本調査」

学科別生徒数の構成割合[推移]

職業学科の比率は年々減少。普通科は最近20年間、ほぼ一定(約7割)で推移



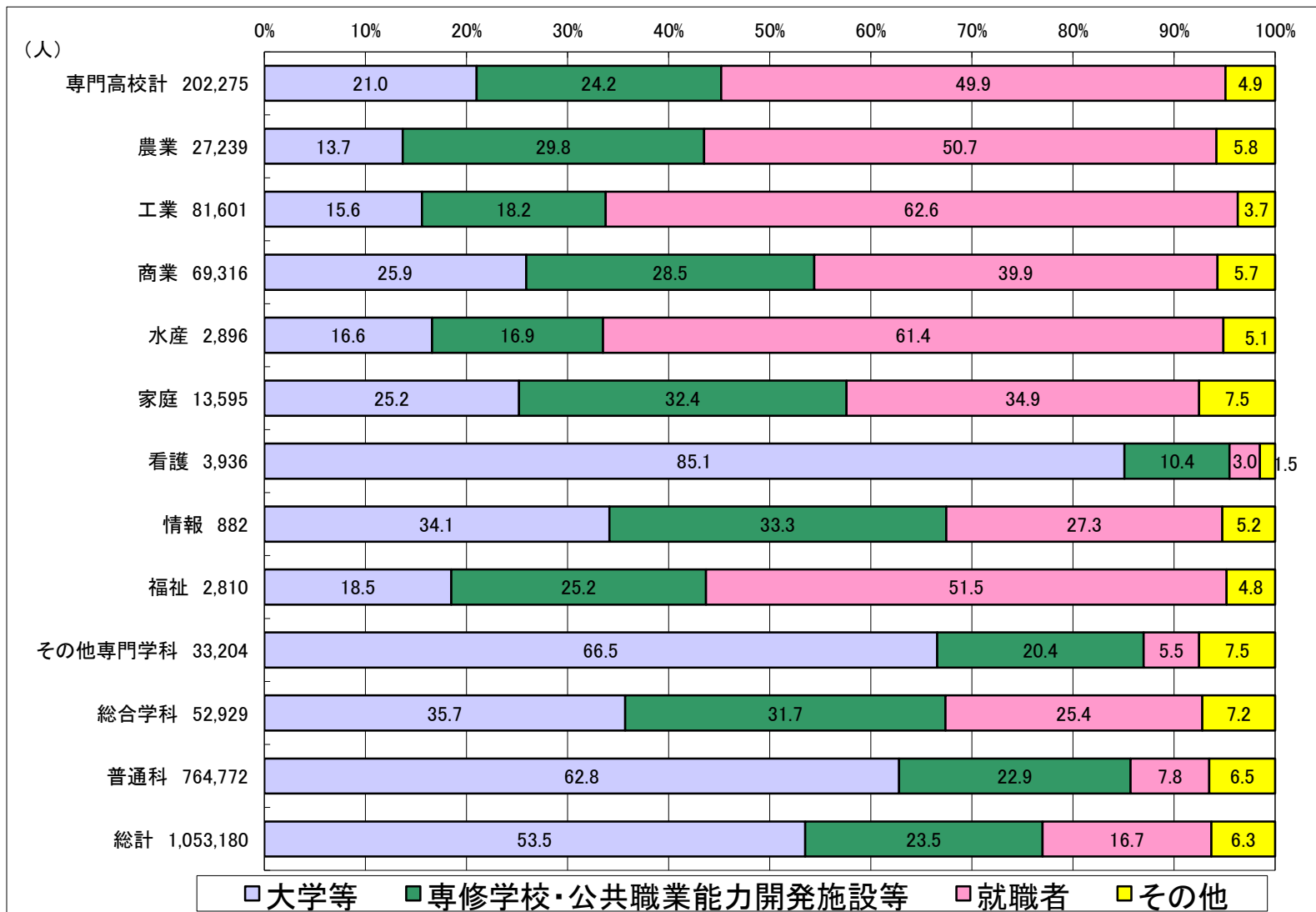
※総合学科は平成6年度より制度化。「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

出典：文部科学省「学校基本調査」

高等学校卒業者の進路状況

①学科別の進路状況(平成24年3月卒)

職業学科
(**専門高校**)

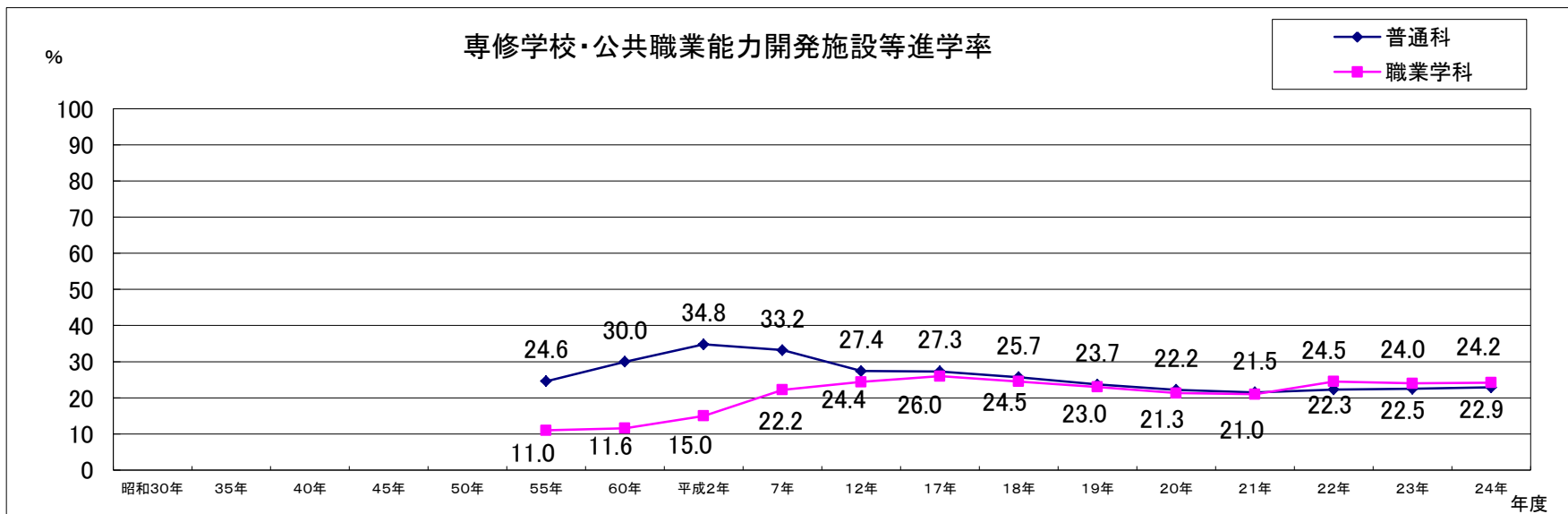
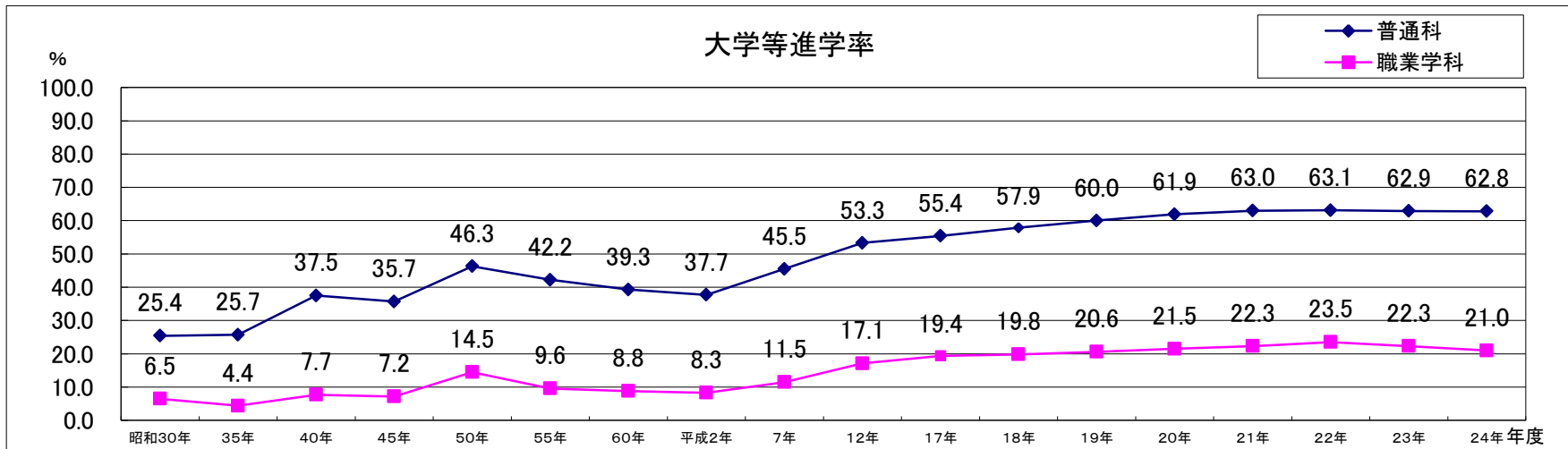


※就職者には就職進学者は含まれない。

出典：文部科学省「学校基本調査」

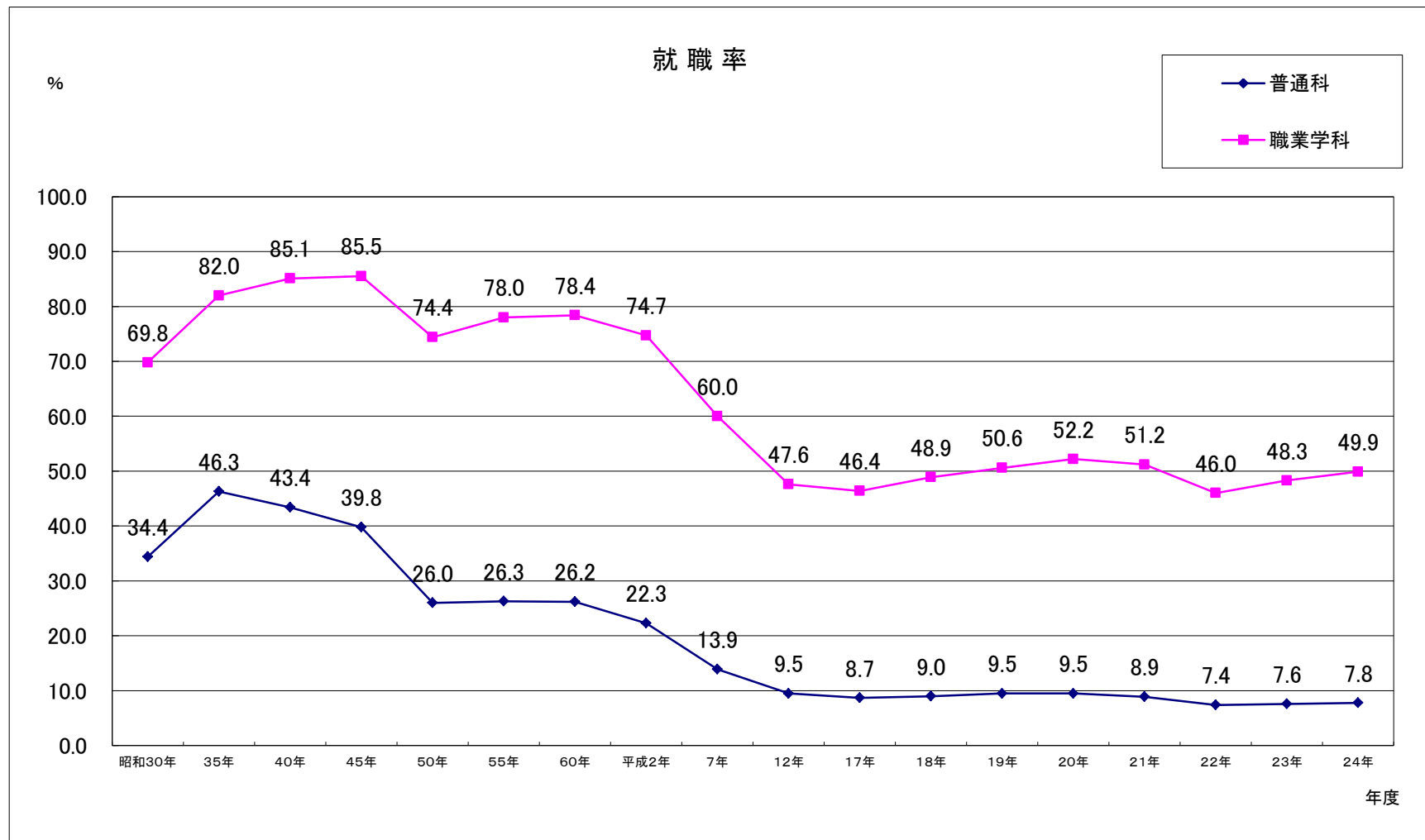
高等学校卒業者の進路状況

②普通科と職業学科の卒業生の進路[推移]



高等学校卒業者の進路状況

②普通科と職業学科の卒業生の進路[推移]



出典：文部科学省「学校基本調査」

全国産業教育フェアについて

1. 趣旨

専門高校等の生徒の学習成果を総合的に発表する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力を得て、全国的な規模で開催することにより、全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・関心を高めるとともに、新たな産業教育の在り方を探り、新しい時代に即した専門高校等における産業教育の活性化を図り、その振興に資することを目的とする。

2. 主催者

文部科学省、開催地都道府県教育委員会、産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会及び開催地産業教育振興会

3. 参加者

全国の中学校及び高等学校の生徒、教員及びPTA関係者、一般市民、企業関係者等

4. 開催内容

開閉会式、作品展示、作品・研究発表、意見・体験発表、競技会、その他

5. 近年の開催地

平成24年度 岡山県、

平成25年度 愛知県

(11月9日(土)、10日(日)開催予定)

会場ですべての会場は無料

第23回 全国産業教育フェア愛知大会 開催日時 平成25年 11/9(土)・10(日) 入場無料

主催 文部科学省、愛知県教育委員会、産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、愛知県産業教育振興会

協賛 愛知県産業教育センター(ウイングあいひ)、愛知県体育館、対谷市産業振興センター、対谷市総合文化センター (対谷会場は11月10日(日)のみ開催)

会場 対谷市産業教育センター(ウイングあいひ) 対谷市総合文化センター

各会場共通 愛知県体育館

作品展示 発表 対話 競技会 意見発表

対谷市産業教育センター(ウイングあいひ) 対谷市総合文化センター

愛知県体育館

対谷市産業教育センター(ウイングあいひ) 対谷市総合文化センター

TEL 052-954-6787

http://www.aanfai-alchi.jp/

第23回 全国産業教育フェア愛知大会 開催日程

会場	時間	11月9日(土曜日)		11月10日(日曜日)	
		午別	午別	午別	午別
大ホール 2F	開閉会式	9:00-10:10	13:00-14:30	9:00-10:10	13:00-14:30
	展示	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	発表	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	対話	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	競技会	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	意見発表	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	その他	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	開閉会式	9:00-10:10	13:00-14:30	9:00-10:10	13:00-14:30
	展示	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	発表	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
	対話	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
競技会	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	
意見発表	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	
その他	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	

会場案内

愛知県体育館

対谷市総合文化センター

対谷市産業教育センター(ウイングあいひ)

対谷市総合文化センター

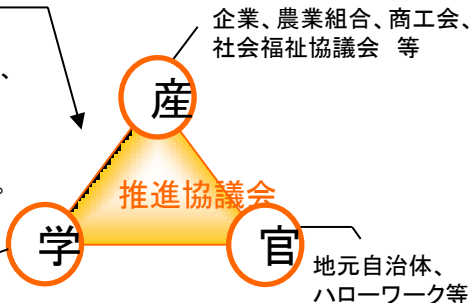
東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

(前年度予算額:450百万円)
25年度予算額:299百万円

事業趣旨 震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復興の即戦力となる専門人材や次代を担う専門人材の育成及び地元への定着を図るため、岩手県、宮城県、福島県の被災地を拠点とした連携体制を整備し、専門人材育成コース等の開発・実証・開設や専修学校等の就職支援体制の充実強化を図る。

実施主体: 推進協議会

産学官による推進協議会を設置し、専修学校や専門高校等を拠点に、
①被災地の人材ニーズの把握や
②実施機関の推進体制の構築(コーディネーターの配置)等を行う。



【短期的課題】

○ 震災の影響による人材需給のミスマッチ

【中長期的課題】

○ 被災地の人材育成による本格雇用の創出につなげ、復興を強力に推進していくため、震災後の人材ニーズの大きな変化に的確に対応した体制整備が緊急かつ重要課題

新産業創出や地元産業の復興に必要な職業能力の向上、被災により失業した者の学び直しなどにより、被災地の雇用の実情を踏まえた専門人材を育成

【専門人材育成コース等の開発・実証・開設】

① 専修学校等における中長期的な人材育成コースの開発・実証

分野 再生可能エネルギー(建築・土木・電気、電気自動車、スマートグリッド等)、医療クラーク、食・農林水産、観光など

● 被災地でニーズが高い分野において、産学官の連携により、地元産業の高度化などに対応する中長期的な教育カリキュラム等の開発・実証を行う。



② 専門高校における人材育成プログラムの開発

● 被災地の産業・資源を生かした実践的な教育内容を研究開発。産業界の意見を踏まえた学習指導要領にとられない教育課程の編成、生徒の本格的な現場実習・企業実習、大学や産業界との共同研究等の推進方を導入。



③ 専修学校等における短期専門人材育成コースの開設支援

分野 介護、医療情報事務、土木・建築・電気など

● 被災地で今後もニーズが高く供給が不足する医療・福祉分野等の教育環境支援を継続実施。被災地の専修学校等を中心に教育機関や医療機関等からの教員派遣やそれらをコーディネートする人材配置等を支援。



【専修学校等の就職支援体制の充実強化】

被災地(岩手県、宮城県、福島県)の就職支援を行うため、産学官の連携による
①合同就職セミナーの開催、②就職支援コーディネーターの配置 など

【参考: 提言等】

「東日本大震災からの復興の基本方針」(23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)
5復興施策(2)地域における暮らし再生④復興を支える人材の育成 他

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH)

平成26年度概算要求額 101百万円 (新規)

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組をする専門高校（専攻科を含む）を指定。

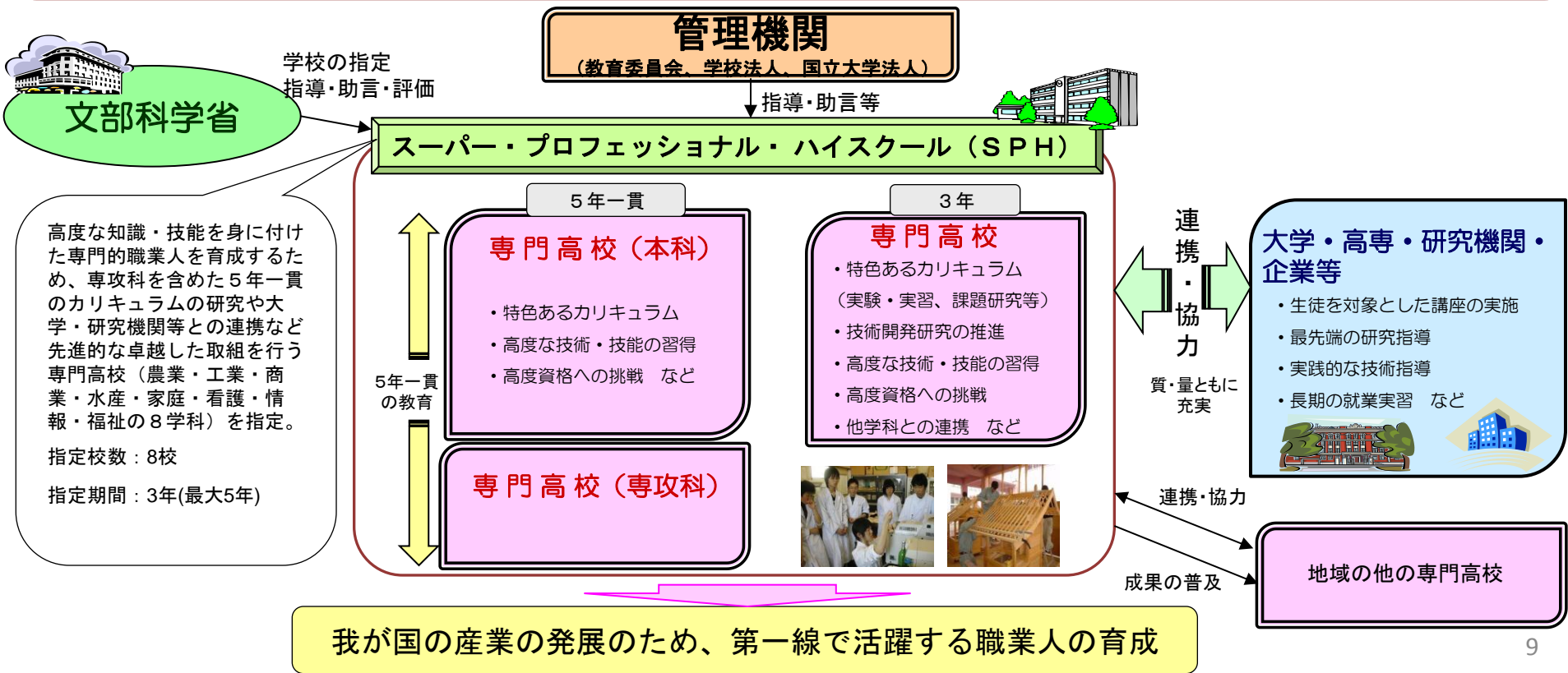
《背景》

○近年の科学技術の進展等に伴い産業界に必要な専門知識や技術は高度化、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展。
→それらに対応した高度で実践的な教育が必要。
(H15年度入学生から実施の学習指導要領に専門教科「情報」「福祉」を新設)

○専攻科は学校教育法で教育課程や授業時数等の基準が設けられていないため、その水準は多様。
→3年間の本科の教育だけでは高度な職業資格が取得できないものがあり、5年一貫教育を行う工夫が見られる。

○新高等学校学習指導要領 (H25年度入学生から実施)
→最先端の内容(※)を記載、産業現場等における就業体験の機会を積極的に設けるよう配慮する旨を記載。※食品トレーサビリティシステム(農業、水産)、マイクロコンピュータの組込技術(工業)など
→座学と実験・実習の連携を図り、「課題研究」等の実践を通じて、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を育成。高等学校間の連携や交流を図る。

○生徒の進路 (工業) 進学: H6.3卒 25.4%→H23.3卒 35.8%
就職: H6.3卒 70.5%→H23.3卒 60.3% (学校基本調査)
→高等教育機関への進学希望の生徒増、一方、高卒時点の人材確保を希望する企業も存在。卒業後の進路が多様化。



みやぎクラフトマン21事業概要

目的

- ① 専門的職業人を育成するための体制整備
- ② 生徒及び教員の技術・技能の向上

地域を支える人材の確保

平成22年度～

コーディネーター

みやぎ工業会, みやぎ建設総合センター

工業系
高校

- ① 実践的授業支援
- ② 資格取得支援
- ③ ものづくりコンテスト
充実支援
- ④ 現場実習
- ⑤ 教員研修

協力
企業

みやぎクラフトマン21事業事務局

(県教委・県経商部・仙台市教委・みやぎ工業会・みやぎ建設総合センター)

(目的) 生徒の多様な教育ニーズに応じ、高校教育が非常に多様化した中で、生徒に確かな学力や学習意欲の向上等を身に付けさせるなど、中央教育審議会での高校教育の質保証に係る検討状況を踏まえ、高校教育の質の保証に係る一層の取組を推進。

また、子どもの成長に応じた小中一貫教育等の学校間の連携や円滑な接続のための取組を推進。

高校教育の質保証及び柔軟な教育システムに係る調査研究の実施

○ 高校生の学習到達度把握に関する検討委員会

高校生の学習到達度把握のための調査の仕組み(目標とすべき水準、実施方法等)等についての検討委員会を設置。

○ 多様な学習成果の評価手法に関する調査研究【委託費総額:145百万円】

教育委員会等への委託により、高校教育を通じて身に付けるべき資質・能力を多面的に評価する手法について調査研究を実施。

事業イメージ

文部科学省
(評価・推進委員会)

・審査、委託
・フォローアップ
・成果普及

・多様な学習成果
評価手法に係る
開発計画の提案
・成果報告

教育委員会、大学、団体等
・評価手法の開発
・成果の検証・とりまとめ

・評価実施依頼
・実施経費支援

・成果報告

高校 高校 高校

・教育活動の実践を通じた評価手法の実施

○ 小中一貫教育校による多様な教育システムの調査研究等

小中一貫教育校を設置する市町村教育委員会を包括する都道府県教育委員会等への委託により、義務教育9年間における子どもの発達の状況等を踏まえた柔軟な教育システムの調査研究等を実施。

事業イメージ

文部科学省
(推進委員会)

・審査、委託
・フォローアップ
・成果普及

・成果報告

・教育委員会
・学校

ジュニアマイスター顕彰制度について①

＜主催＞全国工業高等学校長協会

＜目的＞資格の取得や競技会等での成果を表彰することにより、生徒の意欲と技術・技能の向上を目的とする。

＜顕彰の方法＞主に工業教育に関わる資格、競技会、コンクール等200項目程度を選定し、その難易度や重要度を点数化し、表(区分表)を作成。

30点以上にはジュニアマイスターシルバー

45点以上にはジュニアマイスターゴールド

の称号を外部委員からなる認定委員会が学校長から申請のあった生徒に対し付与する。

＜主な資格や競技会＞

ランク	ポイント	主な資格や競技会	
S	30	電気主任技術者3種	高校生ものづくりコンテスト全国大会1位
A	20	各職種技能士2級	若年者ものづくり競技大会1位
B	12	品質管理検定2級	
C	7	電気工事士2種	高校生ものづくり県大会優勝
D	4	危険物取扱者乙種4類	高校生ものづくり大会県大会入賞
E	2	アマチュア無線技士3級	各種技能系競技会県大会入賞
F	1	ガス溶接等技能講習	

ジュニアマイスター顕彰制度について②

ジュニアマイスター認定者の推移

